PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ1 なぜアメリカは最初の衛星を打ち上げなかったのか

1 ベターは1957年10月4日、スプートニクの衝撃を思い出す。



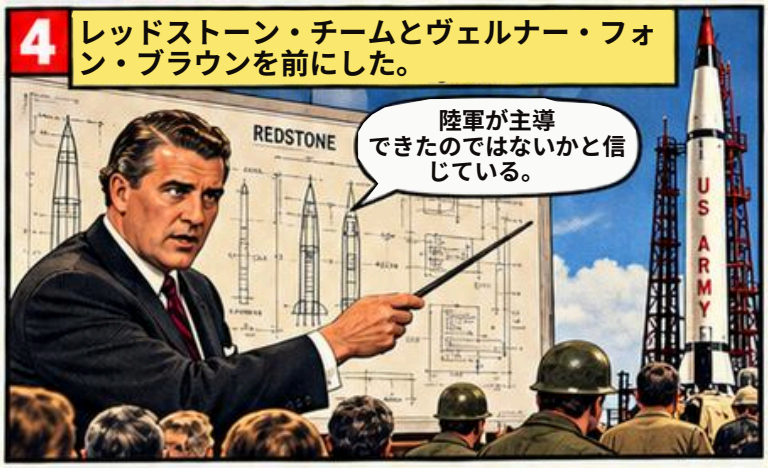
2 スプートニク・イルは後続者だが、アメリカのヴァンガード・プログラムは後退している。



3 ベター氏は、リンドン・ジョンソン氏が宇宙飛行をサポートすることを求めるグループに参加したことがあると述べています。



4 レッドストーン・チームとヴェルナー・フォン・ブラウンを前にした。



5 ベターの証言では、大統領の承認は海軍のヴァンガードを好んでいた。



6 外部からの圧力はフォン・ブラウンの計画の阻止に役立ったと主張する。



7 1958年1月31日、ついにエクスプローラーが軌道に到達した。



8 ベターは、アメリカの最終的な月の勝利におけるフォン・ブラウンの役割で終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ2 ベター氏の戦争警告をアメリカ人が疑う理由

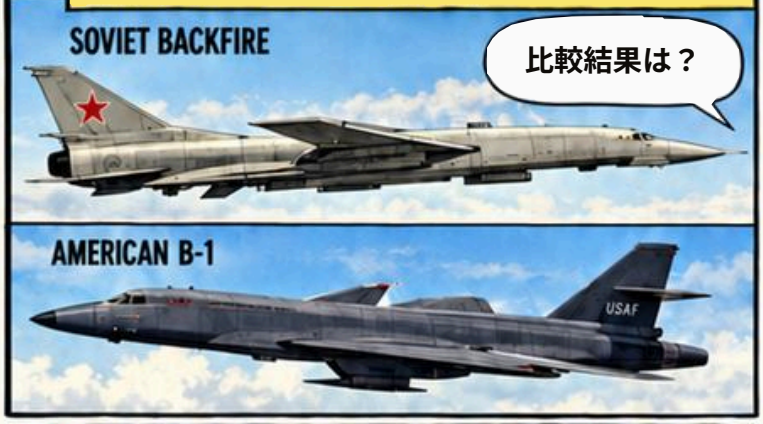
1 1975年にジェームズ・シュレシンジャーが出発したことを思い出す。



2 孤立したニュース報道は、より大きな軍事的イメージを隠していると、彼は主張する。



3 彼はソ連のバックファイア展開とアメリカ軍B-1に対する議論とを対比している。



4 ベター氏は、米国の防空対策と問題の後期の反転について批判している。



5 ソ連潜水艦のミサイルとSSNX-18のテストについて論じている。

or



6 彼は、ソ連のMIRVの進捗を良い知らせと捉える編集部を主張する。

prog



7 ベターはバルト海でのソ連海軍演習に対するデンマークの懸念を引用している。



8 NATOは、軍事的均衡がワルシャワ条約を好むと警告している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ3 財団とベターの戦争への道は

1 ベターは、クリスマスの精神と力の追求とを対比させます。



2 1953-54年のリース研究の研究者ディレクター、ノーマン・ドッドを紹介した。



3 ドッドはローワン・ガイサーが、アメリカとソビエトの生活を融合させるための補助金について述べていると主張している。



4 ドッド氏は、カーネギー記録は戦争と国民生活の再構築を結びつけていると言います。



5 外交、教育、歴史に影響を及ぼしたいと、彼は主張する。



6 ベターは、ソ連潜水艦21隻を巻き込んだ新しいプルトニウム作戦を主張する。



7 彼は新たに57基の海底ミサイルが36基に加えられ、合計93基が追加されたと主張している。



8 オアフ島と真珠湾近くで9発のミサイルを発射している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。